

## 紺矢式 安全健康パイプ ご注文方法

このような良いことをパイプ愛好家の皆様には是非おひろめしたいと、実用新案を申請致し製品化致しました。

製品名 チムニーパイプ

材質 火皿、蓋兼吸引ユニット、把手 ブライヤー  
ウインドウエイ 24金厚メッキ または 銀厚メッキ 真鍮パイプ  
マウスピース／ダボ エポナイト  
焦げ防止プレート 貝(黒蝶貝、アワビ貝、真珠貝)  
仕上げ 着色剤または煙草抽出液による着色とワックスフィニッシュ

製作販売者 紺矢 憲秀 アトリエ シバ 彫刻、彫金作家  
E m a i l yume-no6@pop02.odn.ne.jp  
H P <http://www1.odn.ne.jp/~cbh85000/>  
TEL/fax 0471-34-7215

考案者 紺矢 哲雄 JPSC会員番号 83  
E m a i l banjo5st@din.or.jp  
TEL/fax 047-457-7547

### 注文方法

製作販売者 紺矢 憲秀あてにメールまたはFAXで、お届け先並びにご希望の品名と個数をお知らせください。代引き便にてお送り致します。

ウインドウエイの仕上げを選べます 金、銀いずれかをお知らせください

お願い 手作り品のため1個当たり1週間の納期を必要とします。  
また、現状は少量のご注文のみお受けさせていただきます。  
手作り品のため出来上がりは箇々に違いが生まれます。  
マウスピースも手作りですので、形状は箇々に違いが生じます。

# 使用方法のご紹介および注意書

## 使用方法

- 1 上の蓋兼吸引ユニットと下の火皿部分を反対側にねじり少しきつめに煙草葉を詰め、元に戻し、上下の密着が緩い場合は、吸引ユニットのねじを十字ドライバーで締め付けます。上下を合わせた時にきっちり止まる状態に調整してください。密着が緩いときは蓋兼吸引ユニットと火皿を軽く押さえて密着させて点火してください。
- 2 火皿の着火口を少し上に向けて(下に向けずに)着火口にライターの炎を近づけてダボから少し強く吸い込みますと中の煙草に点火されます。
- 3 密着が確保されていない場合や吸引を中断した時は、途中で火皿内の煙草が消えます。この場合は、一度蓋をずらせて開口し、タンパーで軽く葉を押さえてから閉めて、もう一度着火します。

- 4 数服後に蓋兼吸引ユニット下部の吸引穴と吸引ユニット内、ウインドウエイのパイプ、吸い口のダボ内にタールが付着します。吸引ホールは1ミリ径の小さな穴です。パイプクリーナーの細い端か爪楊枝の先端で詰まった灰やタールを押し込むように除去してください。(金属製の細棒・釘などは使用しないでください)吸引ユニット内、ウインドウエイの金属パイプ内、吸い口のダボは取り外して水洗いできます。市販のパイプクリーナーに中性洗剤を浸し中に通せば完全にタールを除くことができます。蓋兼吸引ユニットや火皿上部にはジュースが付着しやすいので、ティッシュでの拭き取りを毎回行うことをお奨めします。

- 5 密着性の回復について  
本パイプは火皿と蓋兼吸引ユニットとの密着が保たれていることで喫煙を楽しむことが出来ます。

火皿と吸引ユニットに素材の曲がりや乾燥により隙間が生じたときは、上下のユニットを分離し、完全に平らな面(厚ガラス板など)にホーミングなどの研磨剤を水にとかして塗り上下のユニットの密着面を摺り合わせてください。新品のセラミック中砥石で研ぐ方法もあります。曲面になった砥石は密着性を悪化させます。上下を合わせても光が漏れないようになれば完了です。何らかの理由でネジが曲がりますと密着性に影響が出ます。この場合は交換が必要です。

## 注意書

- 注意① 着火口や焦げ防止プレートは高温になります。特に、煙草に点火しにくかった場合はなおさら高温に熱せられます。2秒以上熱しないでください。2秒で点火出来ないときは上下の密着不足です。ネジの密着性を回復してください。  
焦げ防止プレート素材は熱しにくい貝素材ですが、長く点火を試みた後はかなりの高温になることもあります。ご注意ください。
- 注意② 着火時に息を吹き込むとライターの炎がジェット状になり手指にあたったり、喫煙中に強く息を吹き込みますと着火口より小さな火の粉が飛び出しやけどの原因となります。  
(軽く吹き込むとチムニーのような風情が楽しめます)
- 注意③ 喫煙中は全ての部分が加熱されます。特にウインドウエイの金属パイプには長く触れないようにしてください
- 注意④ 火皿と蓋兼吸引ユニットとは一本の金属製のネジでつながれています。通常の使用には十分な強度がありますが、落としたり、過度に締め付けたり、ねじったり、誤って踏んだり乗ったりしますと破損します。このようなことをしないようにしてください

この注意書きをかならずお守りください。

## PL保険付き

もともといかなる喫煙方法にも火を使う以上、やけどの危険性は伴いますが、本パイプは、注意書をお守り頂ければその危険はございません。

2008/6/25